平成30（2018）年度

私費外国人留学生
選抜要項

大阪市立大学

●本学の理念・基本方針等について

大阪市立大学の理念

○大学の普遍的使命－優れた人材の育成と真理の探究－の達成

○市民の誇りとなる大学

・都市を学問創造の場としてとらえ、都市の諸問題に英知を結集して正面から取り組む。

・教育及び研究の成果を都市と市民に還元し、地域社会及び国際社会の発展に寄与する。

○市民に親しまれる大学

・都市型総合大学として、都市・大阪の伝統と文化を継承する。

・自由で創造的な教育と研究及び高水準の医療を推進する。

・市民とともに、都市の文化、経済、産業、医療などの諸機能の向上を図り、真の豊かさの実現をめざす。

教育の基本方針

○都市・大阪を背景とした市民の大学という理念に立脚

○人類の幸福と発展に貢献

○様々な分野で指導的役割を果たし、社会で活躍する人材の育成

研究の基本方針

○新しい知の創造をめざす独創的で特色ある研究を推進

○都市が抱える様々な課題に取り組み、成果を都市と市民に還元し、地域社会の発展に寄与

○新しい産業を生み出す芽となる研究を推進し、その成果を社会に還元

人材育成の目標像

優れた専門性、実践性、国際性を有し、総合的な判断力と豊かな人間性を備え、社会に積極的に参加する市民的公共性を持った人材の育成

〈大阪市立大学 学士課程の３ポリシー〉

【大阪市立大学の教育の特色と目標】

大阪市立大学は、1880年の大阪商業講習所設立に始まり、日本で初めて市立の大学として発足した旧制の大阪商科大学を経て、今日まで続く長い歴史と伝統を持つ公立大学です。公立では数少ない総合大学であり、高い水準の多様な学問研究を基盤とする研究大学として歩むとともに、「理論と実際との有機的な連結を重視する学風」や市井の精神に発した自主独立・自由進取の気風を重んじて、大阪の発展や日本と世界の未来を担う人間を長年育成してきました。

大阪市立大学は、これらの伝統を生かしつつ、8学部10研究科の多彩な学問分野 にわたる総合大学として、国際的かつ個性的で多様な研究の場を活かしながら、高度で闊達な少人数教育を行っています。多様な課題を抱える大阪や日本ひいては世界の調和と発展に貢献するために、真善美の価値判断を身につけ、英知と市民的公共性を備え、多様な他者と協働しながら、地域･社会の様々な分野で指導的役割を果たせる、次世代の人間の育成をめざしています。

【学士課程のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)】

大阪市立大学は、学士課程教育を通して、現代人として必要な基本的教養の修得と国際感覚の練磨をめざした教育を行うとともに、専門知識と総合的知識の双方を基礎にして物事を思索し、理解力、洞察力、実践力、指導力、解決力および品性を兼ね備えた人間を育成します。

この目標を達成するために、所属学部において定める専門分野に関する知識・技能等を身につけ、学部の教育理念や目的に沿った指導を受け、所定の期間在学して所定の単位を修得し、審査や試験に合格した学生に学位を授与します。また、全ての学生が、（知識・理解）（技能）（実践的姿勢）（統合的な学修経験と創造的思考力）の領域で以下のような学修成果を修めることをめざします。

（知識・理解）

・多文化・異文化を尊重し、理解を深めることができる。

・人間と文化、科学と技術、社会と歴史、環境と健康に関する知識を尊重し、理解を深めることができる。

・高度な専門知識を体系的に学び、それに基づき柔軟な思考ができる。

（技能）

・日本語と特定の外国語を用いて、それぞれに求められる水準で読み、書き、聞き、話し、他者とコミュニケーションをすることができる。

・情報通信技術(ICT)などを用いて多様な情報を収集・分析して適切に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。

・情報や知識の複眼的、論理的分析に基づき、批判的思考（クリティカル・シンキング）を行い、その結果を言語や記号で表現することができる。

・問題を発見するスキルや、解決に必要な情報を収集・分析・整理するスキルを修得し、その問題の解決に立ち向かう実践力を身につけることができる。

（実践的姿勢）

・自分で考え、良心に従い、社会のルールを尊重して自分の責任で判断し行動できる。
・他者と協調して行動でき、また、必要に応じて他者に方向性を示し、リーダーシップをとることができる。
・地域をはじめとする社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に関与できる。
・自ら学ぶ姿勢を身につけ、生涯にわたって進んで学習できる。

（統合的な学修経験と創造的思考力）

・これまでに修得した知識・技能・実践力等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決することができる。

【学士課程のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)】

1. 「現代人として必要な基本的教養の修得と国際感覚の練磨をめざした教育を行うとともに、専門知識と総合的知識の双方を基礎にして物事を思索し、理解力、洞察力、実践力、指導力、解決力および品性を兼ね備えた全人的人材を養成する」との大阪市立大学憲章に基づき、すべての学部で学ぶ学生が、「ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果」に示された知識・技能等を修得できるように、次の科目群を全学共通教育科目として設置する。学生は自らの学修意欲と興味関心、キャリアデザインに応じて、また各学部が定める履修規程に従って受講科目を選択する。
   （1）「人間と環境」「都市・大阪」「生命と人間」「人間と社会」「歴史と文化」「自然と人間」「情報と人間」に関する総合教育科目
   （2）英語と英語以外の外国語科目
   （3）数学をはじめ自然科学分野の基礎教育科目
   （4）健康・スポーツ科学に関する知識・技能を育成する科目
   （5）初年次教育科目
2. 地域に基盤を置く公立大学で学ぶ学生としての意識を涵養するため、地域志向系科目をすべての学生が履修できるように学士課程全体を通じて配置する。
3. 地域で学ぶ社会の一員としての意識や国際的な視野を持ち、グローバル化し複雑・多様化する社会にあって、その変革に積極的に関与するために必要な知識・技能や実践的姿勢等を身につける体系的な教育プログラム（副専攻等）を、自らのキャリアデザインに応じて履修できるようにする。
4. 各学部では、学生がそれぞれの学問領域における高度な専門知識を学び、各領域の知識を踏まえつつも柔軟な思考を身につけることができるようにカリキュラムを編成する。その際には「学修成果」の「技能」と「実践的姿勢」を伸長させるように、それぞれの学問的特色に応じて授業方法等を工夫する。
5. 各学部の特色に応じて、4年間（医学部医学科は6年間）の学修を統合的に総括する教育を行う。

【学士課程のアドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)】

大阪市立大学は、学士課程の教育を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、人間性豊かで、多様な関心、柔軟な思考力を持ち、科学・産業・文化・社会の発展に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れます。

そのために、本学の学士課程では以下の方針に基づいて、学生の多様な能力を評価するための入学者選抜を実施します。従って、この方針をよく理解したうえで、高等学校までの学びを深め、広めることを期待します。

（1） 高等学校教育段階においてめざす基礎学力を確認します。
（2） 本学の全学共通教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認します。
（3） 各学部のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えていることを確認します。

〈商学部〉

〈求める学生像〉

「考える実学」教育の方針のもと、実社会について旺盛な探求心と世界的視野を持って学修し、その成果をもって経済社会の発展に積極的に貢献しようと考える意欲と能力のある、人間性豊かな人を求めます。

〈入学者選抜の基本方針〉

日本留学試験で、日本語能力及び基礎学力を、個別学力検査等では、学ぶ意欲と商学部での学修に十分に対応できる、知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、成績証明書とあわせて総合的に評価します。

〈経済学部〉

〈求める学生像〉

経済学部は、高等学校教育段階において人文・社会・自然科学を均衡のとれた仕方で学び、グローバルな経済・社会が直面している問題に関心を抱き、他者とのコミュニケーションや共同の取り組みに対して意欲的な人を受け入れます。

〈入学者選抜の基本方針〉

日本留学試験では日本語能力及び基礎学力を、個別学力検査では経済学部での学修に十分に対応できる知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの獲得水準と学ぶ意欲を、それぞれ確認し、成績証明書とあわせて総合的に評価します。

〈法学部〉

〈求める学生像〉

1．新しい問題に果敢に取り組む知的好奇心を持つ人
2．自分を相対化するための想像力と豊かな人間性を持つ人
3．相手の意見を的確に理解し、自分の意見を論理的に構成して、正確に表現・文章化する能力を持つ人
4．法学・政治学の専門的知識を身につけるために必要な一般教養を有する人

〈入学者選抜の基本方針〉

日本留学試験では日本語能力及び基礎学力を、個別学力検査等では法学部での勉学に十分に対応できる知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの獲得水準と学ぶ意欲をそれぞれ確認し、成績証明書とあわせて総合的に評価します。

〈文学部〉

〈求める学生像〉

・人間の思考と社会・文化の生成発展について考えてみたい人
・人間行動の原理と社会のしくみについて考えてみたい人
・さまざまな言語や文学・芸術について考えてみたい人
・論理的思考を鍛え新しいものの見方を求めようとする人

〈入学者選抜の基本方針〉

日本留学試験で、日本語能力及び基礎学力を、個別学力検査等では、学ぶ意欲と文学部での学修に十分に対応できる、知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、成績証明書とあわせて総合的に評価します。

〈理学部〉

数学科

〈求める学生像〉

・ 数学のアイデアに感動し、さらに深く探りたいと思っている人
・ 定理や公式の証明あるいはこれらを使った計算を、よりよく理解したいと願っている人
・ 過去に分からないままだった数学の内容について、疑問を抱き、粘り強く考えたい人
・ さまざまな科学のなかで用いられる数理的な方法や捉え方に関心のある人
・ 数学のなかに現れる言葉（概念）や論理のもつ特有の普遍性や美しさが好きな人

〈入学者選抜の基本方針〉

私費外国人留学生入試では、日本留学試験と個別学力検査等により、高等学校教育課程で習熟が必須とされる基礎学力ならびに日本語の読解力と聴解力を確認します。

物理学科

〈求める学生像〉

物理学を理解する基礎学力を有する人で、以下のいずれかに当てはまる学生を求めます。

・ 自然のなりたちや美しさに興味を抱いている人
・ ものごとの基本原理を理解したい人
・ 実験や観察に工夫をすることや、ものを作るのが好きな人
・ 集中して考え続けるのが好きな人

〈入学者選抜の基本方針〉

入学試験では、次の点を確認します。

1. 私費外国人留学生入試では高等学校教育課程で習熟が必須とされる基礎学力ならびに日本語の読解力と聴解力を確認します。

化学科

〈求める学生像〉

向学心旺盛で、化学の専門知識・概念を科学・産業・文化・社会の発展に役立てたいと考えている人や、自然現象を化学的に解明したいという知的好奇心をもった人を広く受け入れます。次の指針を理解した上で、国内外の高等学校、短期大学、高等専門学校での学びを深め、知識を広めることを期待します。

〈入学者選抜の基本方針〉

1. 私費外国人留学生入試では高等学校教育課程で習熟が必須とされる基礎学力ならびに日本語の読解力と聴解力を確認します。
2. 本学の全学共通教育に対応できる学力を備えていることを確認します。
3. 化学科のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えていることを確認します。

生物学科

〈求める学生像〉

生物学科は、自然科学の基本原理の理解に必要な基礎学力を有する人で、次のような学生を求めています。

- 生物・生命現象に対して深い興味をもっている人
- 生物・生命現象の法則性の解明に情熱をもっている人
- 生物・生命現象に関わる専門知識に基づいて社会に貢献したいと思っている人

〈入学者選抜の基本方針〉

また、入学試験は、次の方針で行います。

1. 私費外国人留学生入試では高等学校教育課程で習熟が必須とされる基礎学力ならびに日本語の読解力と聴解力を確認します。
2. 本学の全学共通教育に十分に対応できる基礎学力や学習能力を備えていることを確認します。
3. 生物学科の上記のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えていることを確認します。

地球学科

〈求める学生像〉

地球学科は理学部の１学科として、次のような学生を求めています。

・地球への好奇心や探求心の旺盛な人
・地球の法則性を解明しようとする意欲に満ちた人
・地球に関係する分野で社会に貢献したいと希望している人

〈入学者選抜の基本方針〉

また、入学試験は、次の方針で行います。

1. 私費外国人留学生入試では高等学校教育課程で習熟が必須とされる基礎学力ならびに日本語の読解力と聴解力を確認します。
2. 本学の全学共通教育に十分に対応できる学力を備えていることを確認します。

〈工学部〉

〈求める学生像〉

工学部では、社会のさまざまな課題と将来について深い関心を持ち、その課題発見と解決に貢献し、更に21世紀の科学技術や社会の発展に貢献しようという強い意欲と向上心に溢れる学生を、以下に示す各学科のポリシーに基づいて広く受け入れます。

機械工学科

〈求める学生像〉

今日の機械工学が扱う複雑な問題の解決には、様々な視点からのアプローチが不可欠となっています。そこで機械工学科では、原子・分子レベルのナノ・ミクロスケールから、環境・社会などのマクロスケールまで横断的に捉えた特色あるカリキュラムを提供し、色々な視点から問題を考察できる能力の育成をめざしています。そのため本学科では、以下のような人を求めています。

1. ものづくり、物理や数学、人・社会・環境に興味がある人
2. 次世代の先端材料の開発や機械の創成に意欲のある人
3. 機械工学を学ぶのに必要な基礎学力（特に数学，理科，外国語）を有する人
4. 論理的にものごとを考え、自ら問題解決をはかる意思のある人
5. 様々な人と意見交換ができ、協力して課題に取り組むことができる人

電子・物理工学科

〈求める学生像〉

電子・物理工学科は、電子工学や半導体工学、ナノマテリアルや物質表面構造を含む新たな電子・光機能性材料の開拓、光と物質の相互作用や光を利用した工学（物質の発光機構、太陽電池、レーザー、テラヘルツ電磁波など）、またそれらの基礎となる物性理論、と多岐にわたる先端的研究開発を支える技術者や研究者の育成をめざしており、次のような意欲的な学生を求めます。

1. 物理学や電気・電子工学に興味があり、それを幅広い工学に応用することに深い関心を持つ人
2. 物質、電気、光などの物理学的性質の解明と新規機能の開拓、実験的また理論的解明などの幅広い電子・物理の科学技術に強い興味を持ち、主体的かつ積極的に学習・研究する意欲に溢れた人
3. 国際的な視野から新たな課題を見出し、それに積極的に挑戦する意欲を持つ人
4. 日本語や英語などによるコミュニケーション、プレゼンテーション能力の向上に努め、グローバルに工学分野への貢献を目指す人

電気情報工学科

〈求める学生像〉

高度な情報化社会を迎え、広い視野と電気・電子・情報工学などを基礎とし、エレクトロニクス、コンピュータ、情報処理、通信、制御などの幅広い関連技術に関する柔軟な応用能力を身につけた研究者･技術者が望まれています。電気情報工学科では、電気および情報・通信関係の広範囲な問題に対処する適応能力を習得し、さらに、未知の問題を自らの手で解決していく自主性と独創性を持つ技術者・研究者の育成を目標としています。そのため本学科では次のような人を求めています。

1. 電気工学および情報工学分野に対する興味と探究心が旺盛で、新しい分野を切り拓く技術への研究開発に熱意のある人。意欲を持って幅広い分野の勉学ができる人。
2. プログラムや電子回路などの「ものづくり」を得意とする人、あるいは身近な情報通信機器のしくみに強い興味を持ち、より利便性が高い機器を研究開発してみたいという意欲が旺盛な人。また、電子機器やロボットの制御に興味のある人。
3. 自主・自立の精神が旺盛で、広い視野を持ち、倫理観のある人。社会の中で自分だけでなく他人をも活かす気持ちを持ち、それに向けて努力できる人。

化学バイオ工学科

〈求める学生像〉

化学バイオ工学科では、物質・生命およびその変化を原子・分子レベルや遺伝子・細胞レベルで理解できる基本的考え方を身につけ、化学・バイオに関わる基礎理論と技術の実際を学びます。さらに、化学・バイオの先端領域で活躍し、かつ技術者としての責任感・倫理観を身につけ、広く社会に貢献できる人材を育成することをめざしています。そのため本学科ではいずれの入試選抜方法においても、次のような人を求めています。

1. 化学・バイオについての基礎知識を理解できる能力を有し、意欲的に勉学に取り組める人
2. 化学現象や生命現象に対する興味と探究心が強く、新技術の開発に熱意を有する人
3. 実験や自然観察が好きな人
4. 論理的な記述、論理的な発表力など、研究能力とともにコミュニケーション能力を高めることに努力する人
5. 幅広い教養の習得に熱意をもち、倫理観のある人

建築学科

〈求める学生像〉

建築学科は幅広い分野に対応しており、以下のいずれかの素養や能力を有する多様な人材を求めています。

1. より良い人間生活と社会づくりに向けて、建築や社会の問題を解決するための幅広い知識と技術の修得に意欲のある人
2. 探究心が旺盛で、人間・社会・自然界で生じるさまざまなできごとや、それを支える仕組みに興味のある人
3. 建築という形のあるものを創り出すことや、それを実現するための学術・芸術・技術に対する興味と意欲のある人
4. 立体的な思考が得意で、ものづくりや空間への興味・関心が高く、創造力の豊かな人
5. 自分の意見を相手に伝えるコミュニケーション能力の向上に対する意欲のある人
6. 建築学に関する専門科目を習得するのに必要な一定レベルの学力があり、人文・社会科学、文化、歴史など幅広い分野に興味のある人

都市学科

〈求める学生像〉

都市学科では、社会の要請を的確に把握し、倫理観と責任感に基づいて主体的に行動する「環境都市づくり」のプロフェッショナル育成を目指します。そのため、以下のような素養や能力を有する人を求めています。

1. 社会・文化・生活などと関係する都市の多様性を理解し、複眼的な視野で物事を捉えることができる人
2. 歴史や文化を継承しつつ機能的で美しい都市づくりに興味を持っている人
3. 都市圏における環境の保全・再生や自然との共生に強い関心があり、自律・循環可能な都市の創出に貢献したい人
4. 災害に強く、人々が安全・安心・快適に暮らすことができる都市を創生するための技術やマネージメントに興味を持っている人
5. 自主的に調査・実験や演習に取組み、環境や都市に係わる課題を認識・抽出して問題を解決することに努力をいとわない人
6. 技術の開発・適用に必要な理数系科目だけでなく、国際的な視野と人間の行動様式に関わる語学や社会科学系科目にも興味・関心が高い人

〈入学者選抜の基本方針〉

日本留学試験で、日本語能力及び基礎学力を、個別学力検査等では、学ぶ意欲と工学部での学修に十分に対応できる、知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、成績証明書とあわせて総合的に評価します。

〈生活科学部〉

食品栄養科学科

〈求める学生像〉

本学科では、学科の学習成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、大阪市立大学ディプロマ・ポリシーに基づき、以下の入学者受け入れ方針を設定し、優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れます。

（1） 高等学校教育段階で設定されている数学、理科、外国語の基礎学力と応用力を確認します。

（2） 本学の全学共通教育や本学部内の横断的な科目の履修に対応できる幅広い基礎学力を確認します。

（3） さらに、本学科のディプロマ・ポリシーを達成し得る資質として、小論文や面接などを課す多様な入試も行い、以下の様な項目を確認します。

〈入学者選抜の基本方針〉

1）食品と栄養に関する分野に関心が高く、探究心旺盛で、論理的な思考力をもとに、将来、食と栄養の分野で活躍する熱意。

2）環境や社会の仕組み、現代社会の食と栄養がヒトの健康に与える影響に関心があり、食生活に起因する諸問題を解決したいという意欲。

3）病院、行政、小中学校における栄養学の実践に対する興味。

4）大学院等で、さらに高度な専門的知識と能力を身につけ、大学教員、高度専門技術者や指導的立場を担う臨床栄養士を目指す意志。

居住環境学科

〈求める学生像〉

本学科は、新たな居住環境の創造・管理に積極的に取り組む意欲にあふれた人を求める。具体的には、次のような目的意識や勉学意欲を備えた人を受入れる。

(1) 住む人、使う人の立場に立って居住環境に対する諸要求を把握し、その実現を目指す人

(2) 居住環境を取り巻く社会問題・環境問題を思考し、主体的にその解決を目指す人

(3) 図面を書き、模型をつくるという創作・表現活動に積極的に取り組む人

(4) いろいろな立場や考え方の人と協力・協働しながら、適切な判断を行い、ものごとを進めようとする人

(5) 大学内外で居住環境に関する知識を積極的に学習する人

(6) 文科系科目以外の数学、物理学、化学などの学習に積極的に取り組む人

(7) 卒業後、大学院修士課程に進学し、さらに高度な「専門的職業人」を目指す人

(1)は、居住環境学科の教育理念に基づく一番重要な点である。

(2)～(4)については、必ずしも全部を入学時点で満たしている必要はなく、入学後の自学自習によって獲得できる。

(7)については、必ずしも全員が満たしている必要はない。

人間福祉学科

〈求める学生像〉

本学科では、学士課程の教育を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、人間性豊かで、人とかかわり、人を支えることに関心をもち、福祉課題の解決に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れます。

そのために、本学科の学士課程では、以下の方針に基づいて、学生の多様な能力を評価するための入学者選抜を実施します。従って、この方針をよく理解したうえで、高等学校までの学びを深め、広めることを期待します。

〈入学者選抜の基本方針〉

(1) 高等学校教育段階においてめざす基礎学力を確認します。

(2) 本学の全学共通教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認します。

(3) 人間福祉学科における教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認します。

・基礎的なコミュニケーション能力を備えていることを確認します。

・人権を尊重する姿勢を備えていることを確認します。

※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについては、以下をご参照ください。

http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/admission_policy/

目　次

1　学部・学科及び募集人員 …… 1
2　出　願　資　格 …… 1
　○　出願に必要な「平成29年度(2017年度)日本留学試験」の受験科目及び得点 … 2
3　選　抜　方　法　等 …… 2
　○　「留学試験」の受験科目について …… 2
　○　「留学試験」（日本語以外の科目）の出題言語 …… 2
　○　個別学力検査等 …… 3
4　出　願　方　法 …… 3
5　受験上・修学上の配慮を希望する者の出願について …… 3
6　合　格　者　発　表　等 …… 3
7　私費外国人留学生募集要項（出願書類を含む）について …… 3
別表　日本留学試験及び個別学力検査等の教科・科目、配点 …… 4
キャンパスマップ・交通案内図 …… 7
問い合わせ先 …… 裏表紙

1 学部・学科及び募集人員

学部	学科	募集人員
商学部 注1	商学科	若干名
	公共経営学科（文部科学省届出中）	
経済学部	経済学科	若干名
法学部	法学科	若干名
文学部 注2	哲学歴史学科	若干名
	人間行動学科	
	言語文化学科	
理学部	数学科	若干名
	物理学科	
	化学科	
	生物学科	
	地球学科	

学部	学科	募集人員
工学部	機械工学科	若干名
	電子・物理工学科	
	電気情報工学科	
	化学バイオ工学科	
	建築学科	
	都市学科	
生活科学部	食品栄養科学科	若干名
	居住環境学科	
	人間福祉学科	

※ 学力試験の成績により合格者を出さない場合があります。

注1 商学部の学科決定は第２年次の８月に行います。
なお、志望者多数の学科では、標準履修者数を基準として選抜を実施します。
そのため、志望する学科に進めない場合があります。

2 文学部の学科・コースの決定は第１年次の 12 月に行います。
なお、志望者多数の学科・コースでは、標準履修者数を基準として選抜を実施します。
そのため、志望する学科・コースに進めない場合があります。

2 出願資格

出願できる者は、次の(1)～(3)のすべてに該当する者です。

(1) 日本国籍を有しない者

(2) 次の各号のいずれかに該当する者

① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 30 年３月修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（ただし、12 年の課程を要しない国からの出願資格については事前に相談してください。）

② 本学において前号に準ずると認めた者

注 ②により出願しようとする者は、事前に資格認定審査を行いますので、平成 29 年 11 月 13 日（月）までに大学運営本部入試室（電話 06-6605-2141 FAX06-6605-2133）に申し出てください。申し出がない場合は、出願を受理できない場合があります。

(3)　独立行政法人日本学生支援機構の「平成 29 年度（2017 年度）日本留学試験」（以下「留学試験」という）の第１回（６月実施）、第２回（11 月実施）のいずれかを受験した者（**４～６ページに記載する各学部所定の科目をすべて受験しなければならない**）で、**「留学試験」の得点が次の得点以上の者**

商　学　部　「留学試験」の「日本語」（「読解」「聴解・聴読解」「記述」）の合計得点が 270 点以上で、「総合科目」と「数学（コース１又はコース２）」、又は「理科（２科目）」と「数学（コース１又はコース２）」の合計得点が 270 点以上の者

経 済 学 部　「留学試験」の「日本語」（「読解」「聴解・聴読解」「記述」）の合計得点が 270 点以上、「総合科目」の得点が 100 点以上で、「数学（コース１又はコース２）」の得点が 100 点以上の者

法　学　部　「留学試験」の得点が「日本語」（「読解」「聴解・聴読解」「記述」）・「総合科目」・「数学（コース１）」の合計得点で 600 点以上の者

文　学　部　「留学試験」の「日本語」（「読解」「聴解・聴読解」）の合計得点が 200 点以上、「日本語」（「記述」）の得点が 33 点以上の者で、「総合科目」と「数学（コース１）」の合計得点が 240 点以上の者

理　学　部　「留学試験」の「日本語」（「読解」「聴解・聴読解」「記述」）の合計得点が 225 点以上で、「理科（２科目）」と「数学（コース２）」の合計得点が 240 点以上の者
（学科によって受験科目が異なります。５ページ 別表を参照してください。）

工　学　部　「留学試験」の「日本語」（「読解」「聴解・聴読解」「記述」）の合計得点が 225 点以上で、「理科（２科目）」と「数学（コース２）」の合計得点が 240 点以上の者

生活科学部　「留学試験」の「日本語」（「読解」「聴解・聴読解」）の合計得点が 200 点以上、「日本語」（「記述」）の得点が 25 点以上の者で、「理科（２科目）」又は「総合科目」と「数学（コース１又はコース２）」の合計得点が 240 点以上の者
（学科によって受験科目が異なります。６ページ 別表を参照してください。）

注　「留学試験」の成績とは、「平成 29 年度（2017 年度）日本留学試験」の第１回（６月実施）受験者であれば７月 21 日（金）に、第２回（11 月実施）受験者であれば 12 月 19 日（火）に独立行政法人日本学生支援機構より発送予定の成績通知に記載されている得点をいいます。
なお、各科目の得点範囲は、次のとおりとなります。
日本語〔読解０～200 点、聴解・聴読解０～200 点、記述０～50 点〕
理科〔２科目０～200 点〕
総合科目〔０～200 点〕
数学〔０～200 点〕

３　選　抜　方　法　等

入試は、「留学試験」の成績、個別学力検査等の成績及び出願書類の内容を総合して行います。

(1)　**「留学試験」の受験科目について**
別表（４～６ページ）のとおりです。
各学部・学科所定の「留学試験」の科目を受験しておいてください。
受験していない場合は、失格となります。

(2)　「留学試験」（日本語以外の科目）の出題言語
①商学部・経済学部・生活科学部は、日本語又は英語
②法学部・文学部・理学部・工学部は、日本語

(3) 「留学試験」及び個別学力検査の教科・科目、配点は、**別表（４～６ページ）**のとおりです。

(4) **個別学力検査等　平成 30 年２月 25 日（日）・26 日（月）**

４　出　願　方　法

本学所定の出願封筒を使用し、次の送付先に**必ず「書留速達郵便（EMSも含む）」**により送付してください。

(1) **出願期間**

平成29年12月20日（水）～ 12月26日（火）　【12月26日消印有効】

※ただし、12月27日（水）以降に到着したもののうち消印がないものについては、12月26日（火）までに郵便局の窓口に差し出されたことが確認できるものに限り受理します。

(2) 送 付 先

〒558-8585 大阪市住吉区杉本３丁目３番138号　　大阪市立大学大学運営本部入試室

５　受験上・修学上の配慮を希望する者の出願について

障がいを有する等の理由により、本学の受験上・修学上の配慮を希望する者は、平成 29 年 11 月 13 日(月)までに、志願する学部教務担当に申し出て相談してください。

なお、平成 29 年 11 月 14 日(火)以降においても、可能な限り対応いたしますが、できる限り 11 月 13 日(月)までに申し出てください。

６　合 格 者 発 表 等

(1) **合 格 者 発 表 日　　平成30年３月９日（金）**

(2) **入 学 手 続 指 定 日　　平成30年３月16日（金）**

７　私費外国人留学生募集要項(出願書類を含む)について

※ 平成29年10月上旬から配付する予定です。

(1) **大学のWebサイトから請求する場合**　(http://www.osaka-cu.ac.jp/)

大学のWebサイトから直接、テレメールによる資料請求ができます。

(2) **テレメールで請求する場合**

http://telemail.jp にアクセスしてください。

資料請求番号：９５９８３０

※ 送料及び手数料要

バーコード

※スマホ・ケータイで左のバーコードからアクセスした場合、資料請求番号の入力は不要です。

※テレメールを利用しての請求については、下記へお問い合わせください。

テレメールカスタマーセンター　TEL　050-8601-0102（9：30～18：00）

(3) **郵便で請求する場合**

ア　請求する封筒の表に「私費外国人留学生募集要項請求」と「赤色」で書き、裏には差出人の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記載してください。

イ　返信用封筒（封筒の表に「ゆうメール」と「赤色」で記載のうえ、300円分の返信用切手を貼り、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記したもの〔角型２号（24.0cm × 33.2cm）〕を同封してください。

ウ　請求先　　〒558-8585 大阪市住吉区杉本３丁目３番138号　大阪市立大学大学運営本部入試室

別表

◎日本留学試験及び個別学力検査等の教科・科目、配点

学部・学科 ＼ 教科・科目、配点等	日本留学試験		個別学力検査等		
	科　目	配点	教科・科目名等	配　点	
商　学　部 商　学　科 公共経営学科 (文部科学省届出中)	日本語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	450	**外国語**(「英語〔コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ〕」) **口　述**　(注1)	外国語	400
	理科から2科目選択 又は総合科目	200			
	数　学 (コース1又はコース2)	200			
	計	850		計	400
経　済　学　部 経　済　学　科	日本語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	200	**数　学**(「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」) (注2) **外国語**(「英語〔コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ〕」、を必須として、問題の一部について「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目選択) **作　文**(日本語による) **口　述**　(注1)	数　学	100
	総合科目	100		外国語	200
	数　学 (コース1又はコース2)	100		作　文	100
	計	400		計	400
法　学　部 法　学　科	日本語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	100	**外国語**(「英語〔コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ〕」、「ドイツ語」、「フランス語」、から1科目選択)　(注3) **作　文**(社会科学一般、日本語による) **口　述**　(注1)	外国語	200
	総合科目	50		作　文	200
	数学(コース1)	50			
	計	200		計	400

学部・学科 ＼ 教科・科目、配点等	日本留学試験		個別学力検査等	
	科　目	配点	教科・科目名等	配　点
文　学　部 哲学歴史学科 人間行動学科 言語文化学科	日本語 （「読解」「聴解・聴読解」）	200	**国　語**（「国語総合・現代文B」） **外国語**（「英語〔コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ〕」を必須として、問題の一部について「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国・朝鮮語」から1科目選択） **作　文**（日本語による） **口　述**	国　語　200 外国語　200 作　文　100 口　述　100 計　600
	総合科目	100		
	数学（コース1）	100		
	計	400		
理　学　部 数　学　科 物　理　学　科 化　学　科 生　物　学　科 地　球　学　科	日本語 （「読解」「聴解・聴読解」「記述」）	450	**数　学**（「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」） **（注2）** **理　科**（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」から2科目選択。ただし、物理学科は「物理基礎・物理」を、化学科は「化学基礎・化学」をそれぞれ必須とする。） **（注4）** **外国語**（「英語〔コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ〕」） **口　述**	数　学　200 理　科　200 外国語　200 口　述　200 計　800
	理　科 数学科、生物学科、地球学科は2科目選択 物理学科は物理必須、化学及び生物から1科目選択 化学科は化学必須、物理及び生物から1科目選択	200		
	数学（コース2）	200		
	計	850		
工　学　部 機　械　工　学　科 電子・物理工学科 電気情報工学科 化学バイオ工学科 建　築　学　科 都　市　学　科	日本語 （「読解」「聴解・聴読解」「記述」）	200	**数　学**（「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」） **（注2）** **理　科**（「物理基礎・物理」と「化学基礎・化学」の計2科目） **（注4）** **外国語**（「英語〔コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ〕」を必須として、問題の一部について「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国・朝鮮語」から1科目選択） **口　述**	数　学　250 理　科　200 外国語　150 口　述　100 計　700
	理　科 （物理及び化学必須）	100		
	数学（コース2）	100		
	計	400		

学部・学科 ＼ 教科・科目、配点等		日本留学試験		個別学力検査等		
		科　目	配点	教科・科目名等	配　点	
生活科学部	食品栄養科学科	日本語（「読解」「聴解・聴読解」「記述」）	100	数学（「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」）（注2） 理科（「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から1科目選択）（注4） 外国語（「英語〔コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ〕」） 口述（注1）	数学	150
		理科から2科目選択	150		理科	150
		数学（コース1又はコース2）	100		外国語	150
		計	350		計	450
	居住環境学科	日本語（「読解」「聴解・聴読解」「記述」）	100	数学（「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」）（注2） 外国語（「英語〔コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ〕」） 口述（注1）	数学	150
		理科から2科目選択又は総合科目	50		外国語	150
		数学（コース1又はコース2）	50			
		計	200		計	300
	人間福祉学科	日本語（「読解」「聴解・聴読解」「記述」）	100	外国語（「英語〔コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ〕」） 国語又は数学「国語総合・現代文B」、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」から1教科選択（注2） 口述（注1）	外国語	150
		理科から2科目選択又は総合科目	50		国語又は数学	150
		数学（コース1）	50			
		計	200		計	300

（注１）　＜口述＞は合否で判定し、総合判定の資料とします。

（注２）　個別学力検査等の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Ａは全範囲からの出題とします。数学Ｂは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

（注３）　個別学力検査等の外国語は、出願時に１科目選択のうえ出願してください。

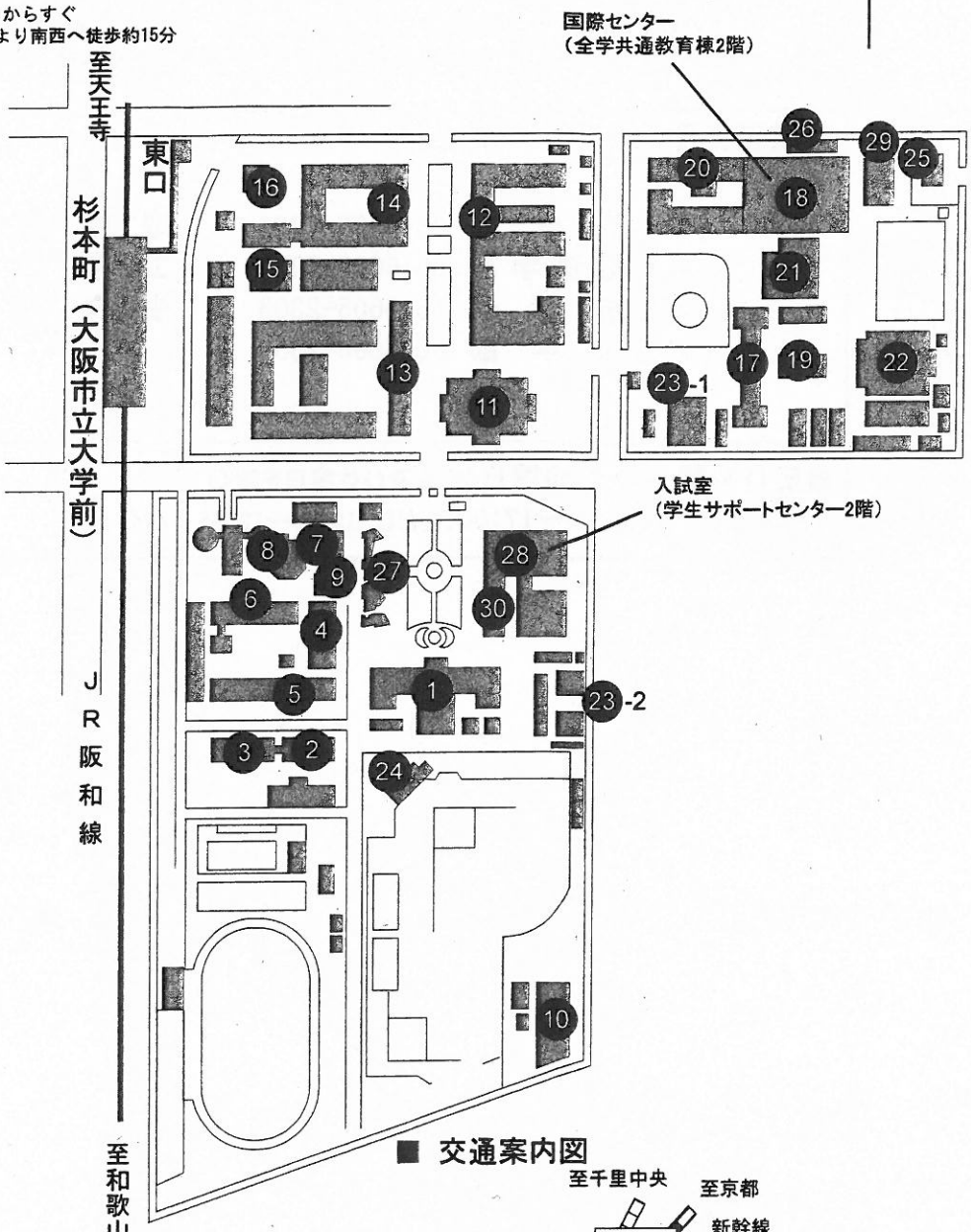
（注４）　個別学力検査等の「物理基礎・物理」は物理基礎及び物理の全範囲から、「化学基礎・化学」は化学基礎及び化学の全範囲から、「生物基礎・生物」は生物基礎及び生物の全範囲から、また「地学基礎・地学」は地学基礎及び地学の全範囲からの出題とします。

OCU 大阪市立大学 Osaka City University キャンパスマップ

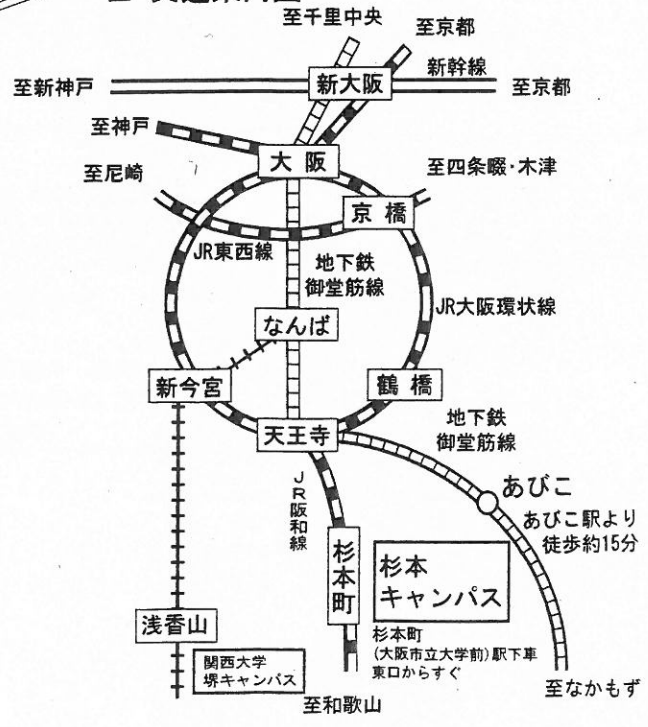
■ 杉本キャンパス

〒558-8585　大阪市住吉区杉本3-3-138
JR「杉本町(大阪市立大学前)」駅下車、東口からすぐ
地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、4号出口より南西へ徒歩約15分

1. 1号館
2. 商学部棟
3. 経済学部棟
4. 法学部棟
5. 文学部棟
6. 経済研究所棟
7. 都市研究プラザ
8. 田中記念館
9. 保健管理センター
10. 河海工学実験場
11. 学術情報総合センター
12. 理学部棟
13. 工学部棟
14. 生活科学部棟
15. 工作技術センター
16. 生活科学部棟別館
17. 2号館
18. 全学共通教育棟
19. 4号館
20. 基礎教育実験棟
21. 第1体育館
22. 第2体育館
23-1. 第1学生ホール
23-2. 第2学生ホール
24. 硬式野球場スタンド
25. ゲストハウス
26. 新産業創生研究センター
27. 高原記念館
28. 学生サポートセンター
29. 共通研究棟
30. 本部棟



■ 交通案内図



＜問い合わせ先＞

杉本キャンパス

〒558-8585　大阪市住吉区杉本3丁目3番 138 号
交通機関：JR阪和線「杉本町（大阪市立大学前）」駅下車、東口からすぐ
地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、4号出口から南西へ徒歩約 15 分

●電話番号

商　学　部	06-6605-2201	理　学　部	06-6605-2504
経 済 学 部	06-6605-2251	工　学　部	06-6605-2653
法　学　部	06-6605-2303	生活科学部	06-6605-2803
文　学　部	06-6605-2353		

●受付時間　月～金曜日（祝日及び休業日を除く）
9:00～17:00（ただし、12:00～12:45 を除く）

大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY
大学運営本部　入試室
〒558-8585　大阪市住吉区杉本３丁目３番 138 号
TEL 06-6605-2141　FAX 06-6605-2133
平成 29 年６月発行